

2016年1月26日

報道関係各位

【ニュートラシューティカルズ関連事業】海外合弁会社設立について

大塚製薬 フィリピンに機能性飲料・食品事業の合弁会社を設立

- 2007年よりポカリスエットを展開しているフィリピンにおいて、さらなる成長を目指し、現地で幅広い分野の実績と信頼があるパートナー企業との協働で、機能性飲料・食品事業を行う合弁会社を設立
- ポカリスエットは1980年に日本で誕生し、1982年より海外展開を開始し、海外販売が順調に成長
- 経済成長、健康意識の高まりとともに機能性飲料、食品の需要拡大が見込まれるフィリピンで、トータルヘルスケアカンパニーとして事業拡大を目指す

大塚製薬株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:樋口達夫)は、フィリピンに機能性飲料・食品事業を目的とした、ソーラーエンターテイメント社との合弁会社「大塚ソーラー フィリピン社」(OTSUKA-SOLAR Philippines, Inc.)を、1月14日に設立しました。この合弁会社設立で、フィリピンでの全国規模のマーケティング活動を活発化し、ポカリスエットブランドのさらなる価値の向上、販売拡大と、大塚製薬の機能性飲料・食品事業の拡大を目指します。

1980年、ポカリスエットは、「汗の飲料」をコンセプトに、発汗により失われた水分・電解質(イオン)をすばやく補給する飲料として開発されました。

1982年より海外展開がスタートし、フィリピンでは2007年より、現地子会社フィリピン大塚製薬^{*1}を通じて販売を開始。同製品は、現在、アジアを中心に20カ国・地域^{*2}で販売され、海外の販売本数が日本国内と同等まで成長し^{*3}、フィリピンでも順調に売り上げを伸ばしています。



フィリピンで販売されているポカリスエット
(左から 2L、500ml、350ml、330ml)

フィリピンは、アジア新興国の中で、中国、ベトナムなどと並ぶ高い経済成長率を示し、近年、年平均約6%の成長^{*4}を続けています。また、生活が豊かになる中、マラソンイベントが各地で開催されるなど、健康への意識も高まってきており、今後の機能性飲料、食品の需要拡大が見込まれ、当社の当分野における事業拡大が期待できる国のひとつです。

新合弁会社の設立は、現地で宣伝、物流など幅広い分野で実績と信頼のあるパートナー企業「ソーラーグループ」(SOLAR GROUP)との協働で実現しました。

大塚製薬は、今後も Otsuka-people creating new products for better health worldwide の企業理念のもと、革新的な製品を開発し、世界の人々の健康に貢献してまいります。

- *1 大塚(フィリピン)製薬: Otsuka (Philippines) Pharmaceutical, Inc. 1997 年設立
- *2 日本、台湾、シンガポール、バーレーン、サウジアラビア、オマーン、アラブ首長国連邦、韓国、インドネシア、タイ、マレーシア、中国、クエート、カタール、フィリピン、エジプト、ベトナム、ミャンマー、東ティモール、カンボジア
- *3 大塚ホールディングス 決算発表資料
- *4 ADB アジア開発銀行 2015 年予測

合併会社の概要

会社名	OTSUKA-SOLAR Philippines Incorporated (大塚ソーラー フィリピン社)
設立	2016 年 1 月 14 日
資本金	5 億ペソ(約 13 億円)※1 ペソ=2.6 円
代表者	社長 鈴木真一
所在地	2F Solar Century Tower, 100 Tordesillas St., corner H.V. Dela Costa St., Salcedo Village, Brgy. Bel Air, 1232 Makati City, Philippines.
従業員数	正社員 29 名(予定)
事業内容	飲料・食料の輸入販売

会社概要

ソーラーエンターテイメント (SOLAR ENTERTAINMENT CORPORATION)

設立	1976 年
資本金	2 億ペソ(約 5.2 億円)
代表者	代表取締役社長 Wilson Y. Tieng (ウィルソン・ティエン)
本社所在地	3rd Floor Worldwide Corporate Center EDSA corner Shaw Boulevard Mandaluyong Manila 1552 Philippines
従業員数	450 名
事業内容	テレビ番組・映画の配信